

平成30年の中で 人気の本、紹介します！

2019年4月30日が平成最後の日になり、5月1日からは元号が『令和』になります。今回は1989年から始まった平成の中で、中高生に人気があった本や、中学生の皆さんが生まれた年（平成16年～平成18年）のベストセラーを紹介します。

平成30年の中で中高生に人気があった本

『夜のピクニック』	恩田 陸／著
『空想科学読本』	柳田 理科雄／著
『窓ぎわのトットちゃん』	黒柳 徹子／著
『ハッピーバースデー』	青木 和雄／著
『ぼくらシリーズ』	宗田 理／著
『ハリーポッターシリーズ』	J・K・ローリング／著
『ピブリア古書堂の事件手帖』	三上 延／著
『5分後に意外な結末シリーズ』	桃戸 ハル／編著



中学生の皆さんが生まれた年のベストセラー

平成16年	『世界の中心で、愛をさけぶ』	片山 恭一／著
	『蹴りたい背中』	綿矢 りさ／著
平成17年	『電車男』	中野 独人／著
	『夜のピクニック』	恩田 陸／著
平成18年	『ハリーポッターと謎のプリンス』	J. K. ローリング／著
	『東京タワー』	リリー・フランキー／著



ちなみに、平成最後のベストセラー本は『漫画 君たちはどう生きるか』吉田 源三郎／原作 羽賀 翔一／画 です。

今回紹介した中に気になる本がありましたら、ぜひ、図書館に借りてきてください。そして、平成も終わり次の元号になりますが、これからも皆さんにお勧めの本を紹介していきますので、Teens Joyをよろしくお願いします。

Teens Joy

10代のみなさんへのおすすめ図書リスト



No.36 2019.4

清瀬市立図書館

13歳からの研究倫理

大橋 淳史／著
科学同人



初めに、研究に「ルール」があることを知っていますか？と問われます。研究に限らず世の中、神羅万象すべて、ルールの上に成り立ちます。あえてここでの問いはどんな意味があるのかと興味は湧きますが、新しいことはなく、ごく当たり前のルール、手順について親切過ぎるくらいに書いてあります。

冒頭にも書きましたが、科学の世界だけにルールがあるわけではありません。社会全体にルールがあり、それをすべて理解することは難しいことです。世の中すべてに、「ルールが組み込まれている」と研究倫理で説かれて、初めて理解することができるでしょう。

<駅前図書館 岩田>

「あなたの“性”は何ですか？」という質問に、どう答えますか

「LGBTQ+」だけではない「普通」の性のあり方も通して、自分自身について考えてみましょう。多様な性のあり方から、自分と他者との関係性、社会のつながりが見えてくるはずです。著者との対話を通して、広大な性の地図を一緒に描き直してみたら、自分の居場所を見つけられるのでしょうか。それとも、遭難してしまうかも？多様な性をもつ多様な人々が共に暮らしているこの社会を、どのようにつくっていくのか。この本が、きっとそれを考えるきっかけになる事でしょう。

<竹丘図書館 栗原>

性の多様性ってなんだろう？

渡辺 大輔／著
平凡社

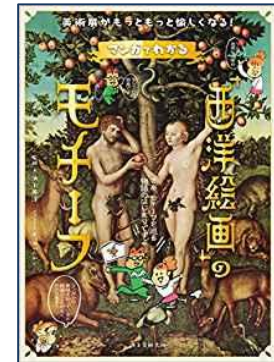


絵画の鑑賞！と聞いただけでなんだか気後れしてしまう事があるかもしれません？しかし、この本によるとそもそも多くの西洋絵画は、むかし、文字が読めない庶民のために絵を使って聖書や神話の教えや巷で話題の事件についてわかりやすく伝える役目を持っていたというのです。描かれた花の意味とは？指さした先にあるものとは？絵画にこめられた約束事を知ると、今までとは全く違う名画の一面がみえてくるでしょう。マンガを多用した読みやすさも魅力的です。

<元町こども図書館 関根>

マンガでわかる「西洋絵画」のモチーフ

池上 英洋／監修
誠文堂新光社



絶滅生物図誌

チョーヒカル／著
雷鳥社



この本は絵師のチョーヒカル氏が絶滅生物70種を「水」「翼」「陸」の3つにわけ、リアルなイラストとともにわかりやすく解説した図誌です。絶滅生物だけでなく絶滅危惧種や絶滅植物、そして、絶滅生物を調理した料理なども載っていて、生物好きな人はもちろん、興味がない人でも、楽しく読めます。絶滅した動物の中には、子どもを自分の胃袋の中で育てる蛙や、怪しい高笑いをするフクロウ、全長10mのオウムガイ等、今では想像できない生物がたくさんいます。読んでみると、「こんな生物が昔はいたのか。」「見てみたかったな。」と思う1冊です。

<中央図書館 根岸>